

論文) 授業「美道論」受講生に対する受講前および直後の 「精神美」に関する理解についての考察

富田知子 木村康一 及川麻衣子 永松俊哉

抄 録

山野美容芸術短期大学が重視する「美道五大原則（髪・顔・装い・健康美・精神美）」に関し、最上位概念である「精神美」について、1年前期の授業「美道論」にて、受講前および直後で全学生を対象に自由記述のアンケートを行い、前後の比較を行った。その結果、受講前では、自身を成長させるものとしての認識が強く、受講後は「髪・顔・装い」と「健康美」を基盤に「自己超越、社会貢献、他者尊重」について述べている傾向が見られた。このことから、「美道論」受講によって「精神美」の理解に変化があったと考えられる。

キーワード：精神美 美道五大原則 美道論 自律 利他

I. 緒言

山野美容芸術短期大学の建学の精神は、「髪、顔、装い、健康美、精神美」の五大原則に基づく「美道」の追究・実践である」とされている。その中でも、「精神美」は最上位概念であり、内面的なあり方（心の状態・態度・価値観）に表れる美しさのことを指し、単なる外見的魅力とは一線を画す。21世紀に入り、グローバル化の進展や社会構造の変化に伴い「多様性」という概念が世界的に注目されるようになった。これまでの同質性を重んじる価値観から、多様な背景や価値観を持つ人々との共存を目指す社会への転換が求められている。そのようななか、「美」に関する概念も多様化していると言える。美容を業とするものは、その多様な「美」の概念に向き合い、取り組む必要がある。「美道」にあげられる五大原則は、「美」に対しての向き合い方も含んでいる。「髪、顔、装い」は、「健康美」を支え、それらすべての質が整うことで「精神美」は完成する。

必修授業である「美道論」では、美道五大原則の理解を深めるための教本を使用する。そのなかで「精神美」は、「美しく生きる」ための重要な要素として位置付けられている。

「精神美」は、「自己実現」を果たした上で「他者を尊重し、社会に貢献すること」であり、図1,2に示す通り構造化できる。美を通して喜びを分かちあい、利他的な行動ができることが、「精神美」においては重要視される。

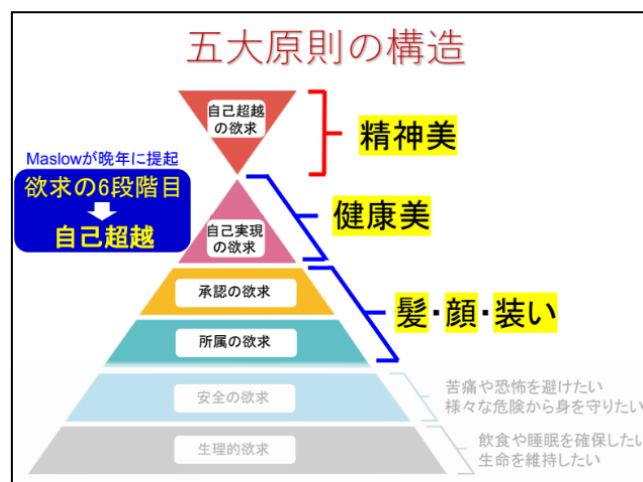


図1 マズローの欲求段階説と美道五大原則位置づけ

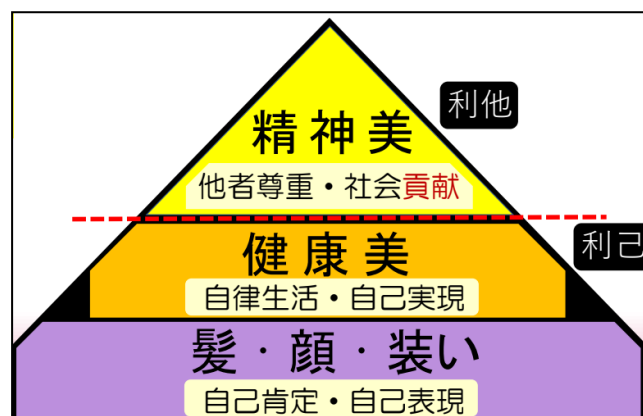


図2 美道五大原則の構造

Tomoko Tomita, Koichi Kimura, Maiko Oikawa,
Toshiya Nagamatsu

山野美容芸術短期大学

連絡先:〒192-0396 東京都八王子市鍵水 530

美容家における「精神美」は、専門的な知識や美容技術をもって、他者の人生がより豊かなものになるように働きかけることである。

美道論の授業を通し、学生自身がどう成長し、「精神美」に対する理解を深めていくのかを考究することは美容教育の質を保持する上で有意義と思われる。

そこで本研究では、1 年前期に行われる「美道論」授業受講前および直後に学生の「精神美」に対する意識の変化を調査し、「美道論」の受講が「精神美」の理解に及ぼす影響を検討するものである。

II. 研究方法

研究方法は、次のとおりである。

調査方法：自由記述式アンケート

対象：2023 年度入学生

概ね 18～19 歳、30 代学生含む

時期：1 年次前期に開講する授業「美道論」

・受講前：4 月 回答数 146

・受講後：7 月 回答数 166

倫理的配慮：学生回答の自由性と個人が特定されない形での実施を口頭説明

使用ツール：Google form

設問：「貴方の思う精神美とは」

受講前後の「精神美」に関する認識の変化を比較した。テキストデータは、KH coder (3. Beta. 04b) を用いて、テキストマイニングの手法で分析した。

III. 研究結果

受講前後の分析結果をここに示す。

表 1 および 3 では、分析上特徴的で頻度の高い名詞をタグと指定している。表 2 および 4 は、分析対象のデータにおける高出現語の中でも、特徴語とされる「精神美」について、前後の記述の特徴的な内容を抽出した一部を提示する。特徴語とは、特定のテキストあるいは、複数のテキスト群全体に共通して顕著に多く出現する単語である。

1) 受講前の結果

分析対象とする「受講前のデータ」は、文書（サンプル）数は 146 である。最初に、受講前のデータについての分析結果を報告する。

表 1 受講前 出現抽出語と出現回数の例
(5 ページ参照)

表 2 受講前 「精神美」の前後記述例
(5 ページ参照)

① 自分自身への関心

「自分」「自分自身」「自分を律する」「自信」「自己肯定感」など、自己の内面を鍛える、強くすることが「精神美」として語られている傾向がある。

「ありのままの自分である」「自分を知る」「自分を愛する」など、自己理解や自己受容を重視していることが推察される。

② 努力や目標への志向

「努力」「忍耐力」「継続」「挑戦」「向上心」「目標」などが頻出し、「精神美」を考えるとときに、努力を怠らず成長し続ける姿勢が感じられる。

特に「努力を継続できる心」「諦めずに挑戦すること」といった表現があり、ストイックで主体的な精神のあり方が美とみなされているように思われる。

2) 受講後の結果

分析対象とする「受講後のデータ」は、文書（サンプル）数は 166 である。

表 3. 受講後 高出現抽出語(出現回数)例
(6 ページ参照)

表 4. 受講後 特徴語「精神美」の前後記述例
(6 ページ参照)

① 「精神美」の中心は「心の美しさ」

学生の回答では「心」「内面」「美しい」といった語が最も強く結びついており、「精神美」は外見的な美しさではなく 内面的な在り方そのものを美とみなしているように感じられる。

② 利他的要素の重視

「思いやり」「尊重」「感謝」「誠実」など、他者に向けられる徳目が多く出現している。特に「他者」「相手」「人」といった語が「精神美」と強くつながっている。「精神美」は「自己の内面を美しく保つこと」に加えて「他者への関わりの中で表れる美」として理解され、利他的実践を通じて具体化されるものと考えられている。

③ 健康美との結びつき

一部の回答では「心身ともに健康であること」「心の余裕」「生活」といった語が結びついており、「精神美」は心身のバランスやウェルビーイングの一形態として捉えられている感がある。健康であることで心に余裕が生まれ、その余裕が「思いやり」や「他者尊重」に繋がると捉えたのではないだろうか。つまり、「精神美」は健康の結果として発揮される心の美であると同時に、「精神美」を意識することもまた健康を支えることにつながるのかもしれない。

④ 受講後の特徴的傾向

授業を経た後では、「精神美」が「徳目の羅列」から「自己と他者を媒介する包括的な概念」へと整理されている。利他的理解（他者尊重・思いやり）は、より中心的に位置づけられ、健康との関連も「単なる体調の良さ」ではなく「心身の調和」「生活態度」として体系的に語られるようになっている。

3) 出現語の共起ネットワーク分析

共起ネットワーク図はプロットされる語の出現頻度と共起する関係を線でつなぐ構造で示される。共起とは、テキストデータにおいて、2つ以上の語が同一の文、文節などの一定範囲内で同時に出現する現象を指す。アンケート回答文の共起ネットワークを、図3,4,5に示す。一つの語は、丸で示されたノード（点）で、二つのノード間に線（エッジ）が引かれている場合、二つの語は一つの文章で共起したことを示している。ノードが網のように集約されている部分は意味的ネットワークとしてのまとまりである。丸で示されたノードの大きさ（バブル）は、その語が出現する回数を示す。これらを踏まえ、受講前と受講後および、前後の比較したテキストの共起ネットワーク図を示す。

① 受講前の共起ネットワーク

図3 受講前データの出現語についての共起ネットワーク分析（7ページ参照）

最も共起性が高く、出現頻度も高い語の集団は、「精神美」や「心」「美しい」等の語が形作る図の右部分に位置するネットワークである。他のネットワークは点が小さく、ネットワークの広がりも小さい。中でも大

きめなネットワークは、「努力」「忍耐力」「目標」等で形作られている。次いで注目されるのは、「思いやる」「個性」「相手」「受け入れる」「強い」等で形作られているネットワークである。「健康」「体」との関係も見られる。

② 受講後の共起ネットワーク

図4 受講後データの出現語についての共起ネットワーク分析（7ページ参照）

「精神美」「考える」「心」「美しい」「自分」「人」「周り」などが大きなノードで描かれており、「精神美」理解の中核的な語彙となっている。特に「心」「美しい」が強く結びついており、「精神美＝心の美」というイメージが強い。「他者」「尊重」「思いやり」「社会」「奉仕」「生活」と「自律」をつなぐなどのクラスターが形成され、「精神美」が対人関係や社会性と結びつけられている。「自分」と「他者」の両立を意識した語が配置されているのが特徴的である。その傍に小さいノードではあるが「利他」「生き方」がおかれている。「感謝」「誠実」「尊敬」などの徳目がつながり、「精神美」を *moral virtue* として理解している傾向が見られる。「生活」「状況」「能力」「心」など、「精神美」を日常生活や健康との調和でとらえる視点も見られる。「髪・顔・装い」はつながった形で関係するものとしておかれている。

③ 受講前後データ間の共起ネットワーク

図5 受講前後データ間の共起ネットワーク分析（8ページ参照）

受講前後で共起している語は、「精神美」や「心」といったものである。また「精神美」と関わる対象として「自分」「人」「他者」「他人」「相手」も出現している。「自分」はより受講前に、「人」は受講後に近い位置にある。

受講前での固有語は「自分自身」「努力」「素直」「思いやる」「自信」等であった。

受講後での固有の語は「自己実現」「周り」「社会」「生活」「理解」「自律」等であった。

IV. 考察と今後の課題

まず、受講前の出現語「精神美」前後のつながりの結果及び共起ネットワーク分析の結果から、受講前は、「努力」、「忍耐」および「目標」といったワードに特徴があり、「精神美」は自身の成長によって獲得される傾向がみられた。

次に受講後の出現語「精神美」前後のつながりからは、「自律」「自己実現」と共に「利他」「他者の尊重」「社会」「貢献」等の言葉が提示された。このことから、受講後には、美容を業とするものとして、社会との関係性の中に「精神美」が存在することが推察された。

また、前後データ間の共起ネットワーク分析ではそれぞれの固有語がみられた。受講前後で特に共起している語は、「精神美」や「心」である。また受講前での固有の語は「自分自身」「努力」「素直」「思いやる」「自信」であった。一方、受講後で固有の語は「自己実現」「周り」「社会」「生活」「理解」「自律」であった。

したがって、「美道論」受講前は自身の内なる美に生じることに視点が置かれ、受講後は、周囲との関わりや社会の生活へと視点が変化している可能性が考えられる。

これらのことから、「美道論」は、「精神美」の理解に寄与していることが示唆された。

今回の結果は、1 年入学時と受講直後の結果であり、今後は、2 年間の本学の学びの中で学生が美容を業とする者としての「精神美」の理解がどのように定着していくかを追跡していく必要がある。

謝辞

今回の調査にあたり、アンケートに協力いただいた学生の皆さん、アンケート実施に当たりご協力いただいた本学教職員の皆様、詳細な分析と考察にご教示いただいた一般社団法人知識環境研究会の神山資将様に心より感謝申し上げます。

利益相反の有無

本研究において、開示すべき利益相反はありません。

参考文献

- 1) 樋口耕一 KH coder (3.Beta.04b) . <https://kncoder.net/>
無料で利用できる公開テスト版を使用して分析を行った。2023 年 12 月からは、株式会社 SCREEN アドバンスドシステムソリューションズが正式版を販売している。
- 2) 美道論：木村康一、永松俊哉、富田知子 2022 年 3 月 国際美容協会
- 3) 入門ビューティービジネス：新井卓二、河崎峰子 2023 年 7 月 同友館

(A Study on Students' Understanding of "Spiritual Beauty" Before and Immediately After Taking the Course "Bido Theory")

表1 受講前 出現抽出語と出現回数の例

抽出語	品詞	出現回数
精神美	タグ	179
心	名詞	133
自分	名詞	93
内面	名詞	57
他者	名詞	49
気持ち	名詞	49
精神	名詞	31
自信	名詞	28
感謝	サ変名詞	24
健康	形容動詞	23
他人	名詞	23
優しい	形容詞	19
思いやり	名詞	18
努力	サ変名詞	17
自分自身	タグ	15
忍耐力	タグ	11
尊敬	サ変名詞	6
磨く	動詞	6
目標	名詞	6
向上心	名詞	6

表2 受講前 「精神美」の前後記述例

- 自己肯定感が高く他人への思いやりや気配りができることが「精神美」だと考える。
- 「精神美」は心の美しさだと思います。努力することが大切で努力をしようとする心がけ。
- 「精神美」とは、自分を愛することである。
- 自分の目標に向かって努力をし、継続する忍耐力のある精神こそが「精神美」と考えた。
- 律する心意気や自分の欠点から目をそらさず、欠点にきちんと向かい合う心のことです。つまり「精神美」とは、自己研鑽をすることだと思います。
- 美しいと考えているので、固定観念にとらわれず色々な事に挑戦し向上心を持ち続けることは、「精神美」に繋がっていくと思います。
- 「精神美」とは、向上心を持って行動することだと考える。
- 「精神美」とは、他者に思いやりを持って助け合う心と自分自身を尊重する心です。
- 「精神美」とは、「ありのままの自分」でいることだと思います。
- 「精神美」とは、素の自分を受け入れること。目標に向かって諦めずに努力すること。

表3 受講後 高出現抽出語（出現回数）例

抽出語	品詞	出現回数
精神美	タグ	256
心	名詞	191
他者	名詞	90
尊重	サ変名詞	73
周り	名詞	67
相手	名詞	67
社会	名詞	60
自律	サ変名詞	26
自己実現	タグ	25
奉仕	サ変名詞	24
価値観	タグ	22
健康	形容動詞	22
貢献	サ変名詞	15
多様	形容動詞	15
助ける	動詞	14
立場	名詞	11
感謝	サ変名詞	8
利他	名詞	7
健康美	タグ	4
仕事	サ変名詞	4

表4 受講後 特徴語「精神美」の前後記述例

- 私の思う「精神美」は、利他を尊重し、自分を愛することだと思います。
- 社会に貢献できるように周りが見えている人、そして自分自身を受け入れてあげていることが「精神美」だと思います。
- 私が思う「精神美」とは他人に対する気持ちや自分の気持ちだと思います。他人に思いやる気持ちは相手の立場を考え行動すること。
- 「精神美」とは、他者を尊重し社会に奉仕する自律した心だと思います。
- 様々な能力や資源を活用しながら自己実現のために知恵を使い工夫する生活をおくることが「精神美」だと思う。他者や社会のために貢献したいという奉仕の心も大事。
- 授業で出てきた尊重、尊敬、自律など様々なことを習ったが、全ては「精神美」につながると思う。健康美も、容姿だってそれについて考える心が「精神美」に繋がる。
- 美しい生き方を心がけ続けることこそが、他者を尊重し社会に奉仕する自律した心であり、「精神美」であると考えます。
- 他者や社会全体への奉仕も忘れず、相手の気持ちを理解し、価値観を尊重することで「精神美」が成り立つと考える。そして、それらのことを意識して生活することで他者を尊重し社会に貢献する。
- 「精神美」とは、精神的に安定し、自己研鑽に励みながら、他者の多様な価値観を理解し、尊重できること。
- 精神的に安定し、自己研鑽に励みながら、他者の多様な価値観を理解し、尊重できることで、「精神美」があるからこそ、髪顔装い、健康美が整い、美しくなると思います。

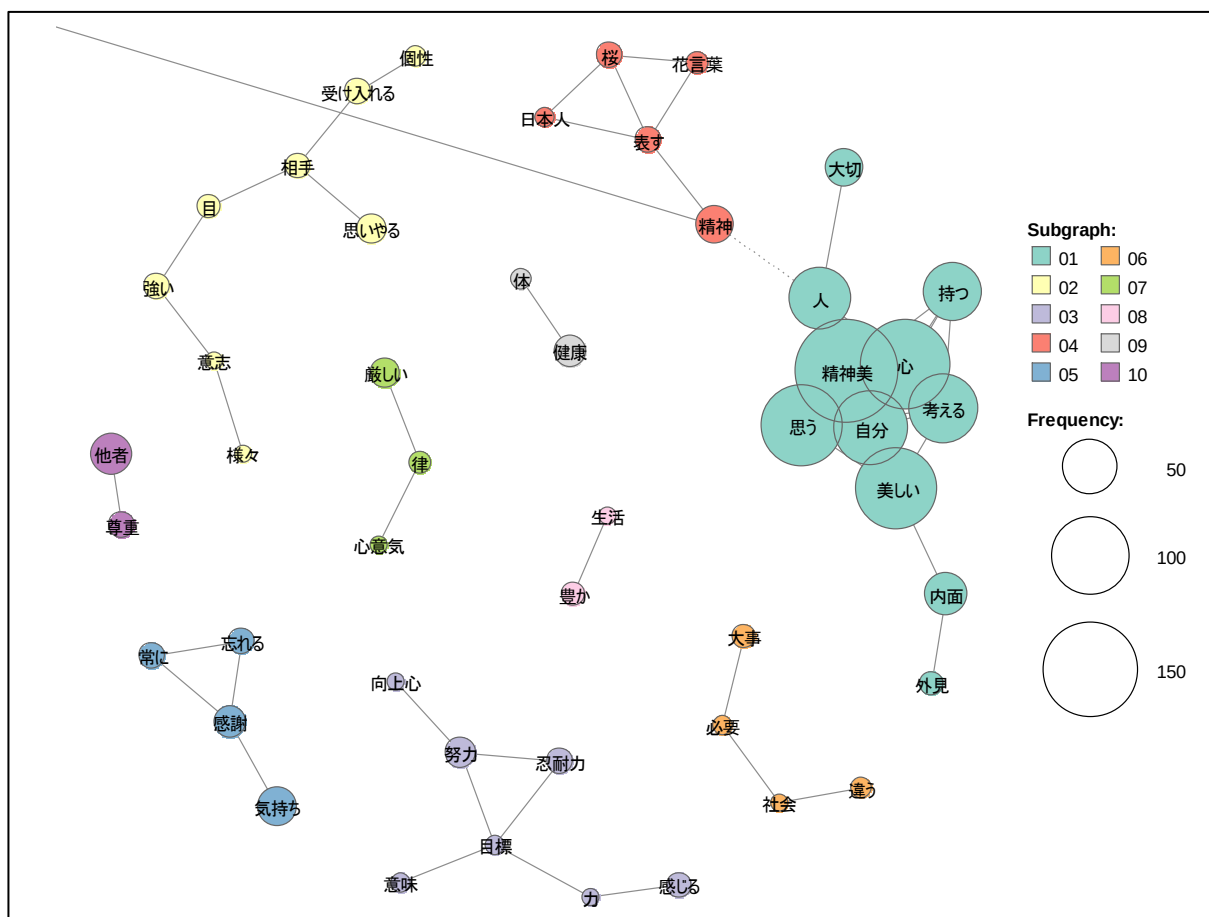


図3 受講前データの出現語についての共起ネットワーク分析

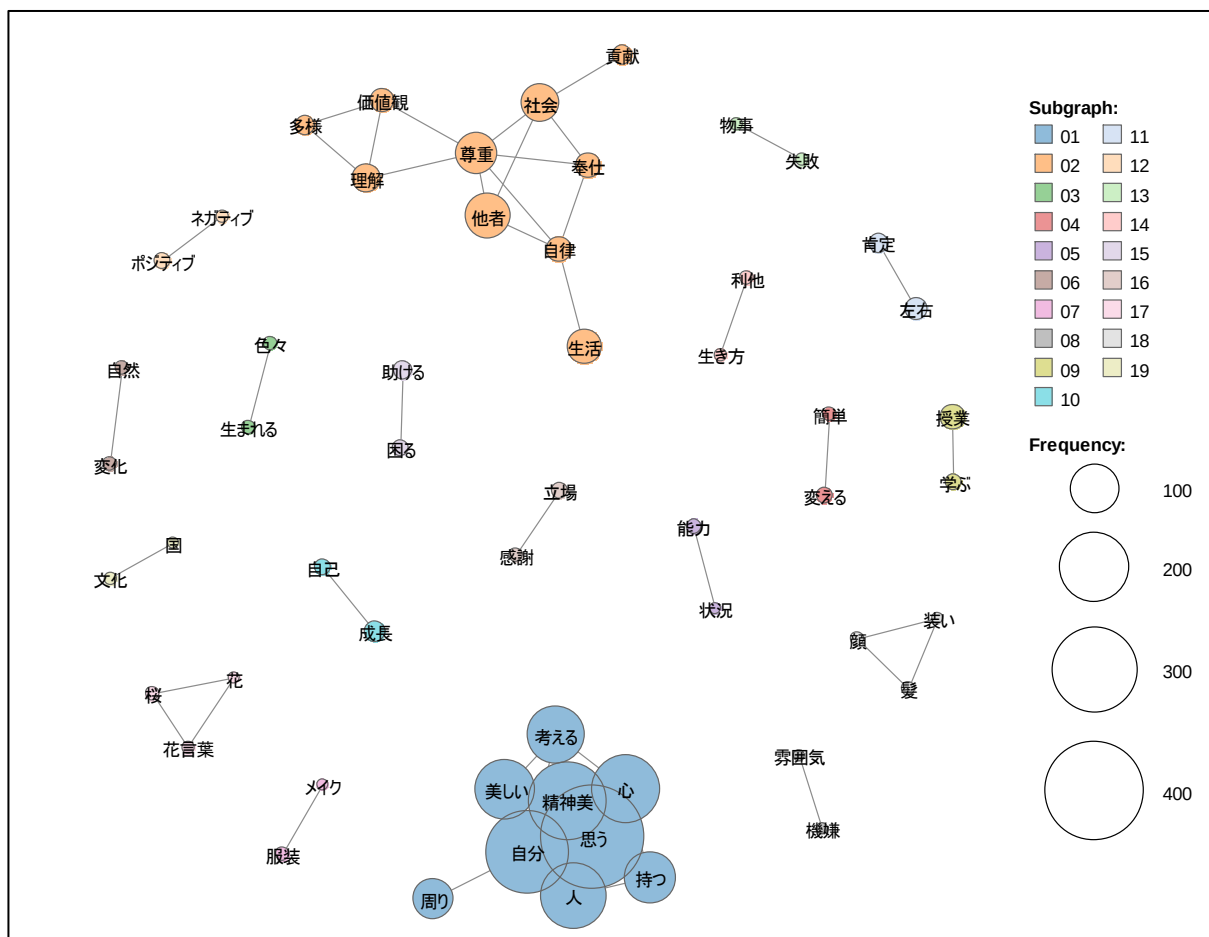


図4 受講後データの出現語についての共起ネットワーク分析

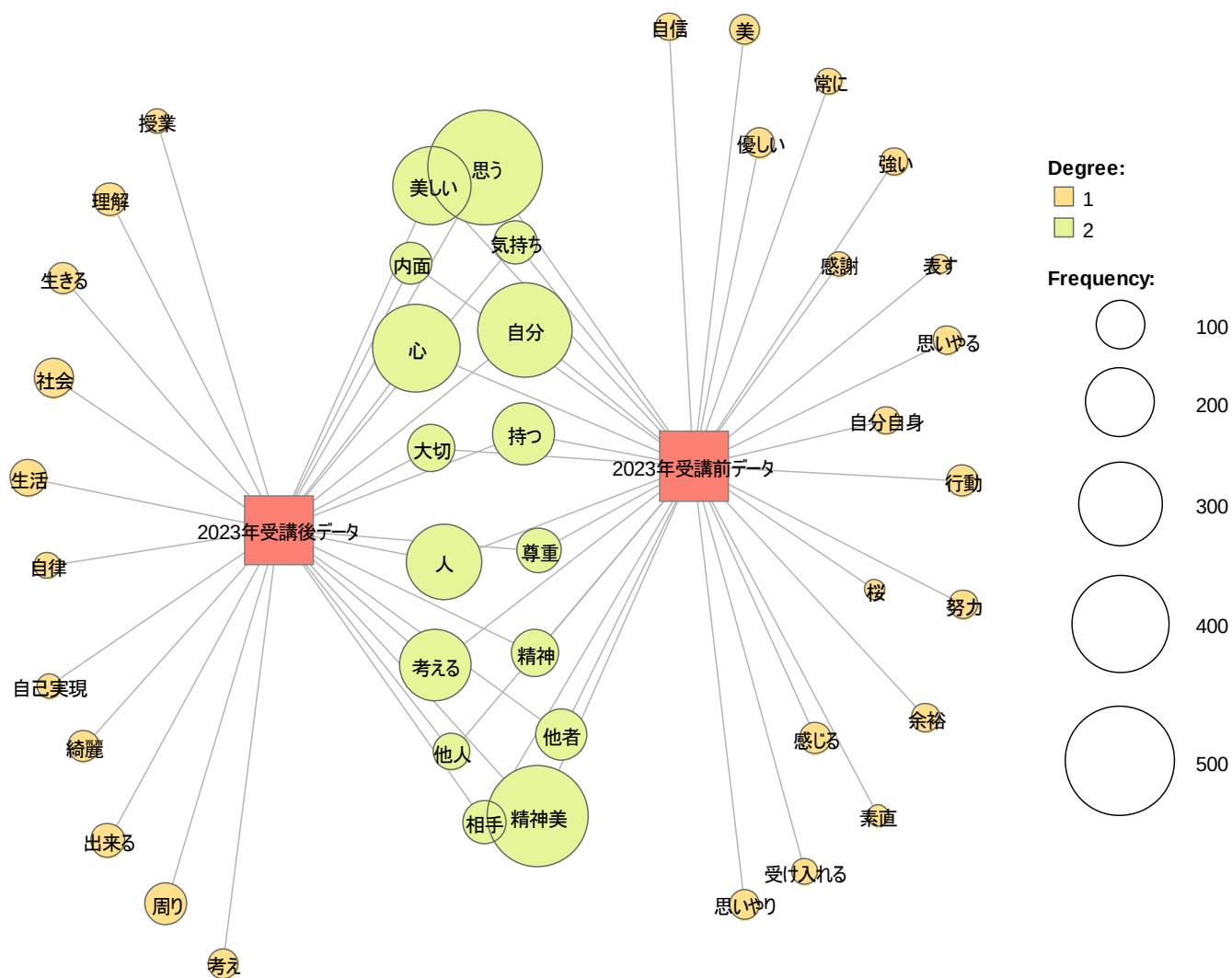


図 5 受講前後データ間の共起ネットワーク分析